



# 香南市スポーツ推進委員



香南市では、体育指導委員から名称が変更した「スポーツ推進委員」の皆さんが、各地域で行われる運動会をはじめ、駅伝などの競技会、手軽に楽しめるスポーツの普及活動などに携わっています。長年、地域スポーツの振興に努める委員の活動を紹介します。

◆頑張っている人物やグループを  
広報編集委員が紹介します。…担当/島崎則彦

## 主な取り組み

香南市には「山北みかん健康マラソン大会」のような知名度が高く、市外からの参加も多い大会があります。実は、これも推進委員が地域とともに育ててきたイベントの一つなのです。



もちろん昔から続いている地域の運動会では、計画や運営面などに長年、委員が関わってきました。「昔の地区對抗は、すごかった。判定が違う言うて、びっしりけんか。よう胸ぐらをつかまれました」。30年以上委員を続けている委員長の百田彰和さんは、当時の盛り上がり懐かしく振り返ります。

## 誰もが楽しめる

スポーツは、子どもからお



百田彰和さん

年寄りまで皆が楽しめることが大事な要素。最近では、ゲートボールをはじめとするたくさんの「ユースポーツ」が定着してきました。フランス生まれのペタンクや、野外で家族が楽しめるフライングディスク：これらの競技の講習を受け、地域に広めることも推進委員の役目です。中でも、香南市の委員がいち早く目をつけ、普及に力を注いだのがペタンク。市内各地で大勢の人が楽しめる人気競技になりました。

## 一緒に汗を流す



香南市のスポーツ推進委員は、このような地道な活動が評価され、文部科学省から全国表彰されることが内定しています。

新スポーツの陰で、衰退する競技もあります。長年続いた香美郡町村対抗駅伝は合併を境に、旧町村ごとの選手のをやりくりの難しさなどから途絶えてしまいました。百田さん



ら委員は、再開を目指して何度も話し合いを重ねました。「何とか復活させたいと必死やった。でもなかなか難しかった」と残念がる百田さん。でも一方で、スポーツへの取り組みを通じて、合併後の「良さ」も見えてきました。

「地域スポーツは町の垣根を越えて交流して、人と人がつながる、連帯が深まる。これが大切」。話したこともなかつた人同士が、一緒に汗を流すことで少しずつ分り合い、通じていく。香南市という新しいまちづくりを進めていく上で、地域のスポーツは大きな役割を担っているのです。

いつでも誰とでも親しくなれるスポーツ。ひよっとしたら香南市からも世界的な素晴らしいアスリートが生まれるかも：スポーツはいろいろな楽しい可能性を秘めています。あなたも何か始めてみませんか。



## 編集後記

▼秋と言えば：食欲・スポーツ・芸術の秋などが上位でしょうか。11月もスポーツや自然、地元のおいしいものを堪能できるイベントがいっぱい。お腹も心も満たす催し、さく出かけるぞ！（猪）

▼地元の上夜須青年部チームで、第47回夜須町民バレーボール大会に出場しました。チーム数が6チームと少なかったのが残念でしたが、伝統ある大会に地元メンバート共に汗を流し、楽しくプレーできました。大会の結果と写真は来月号に掲載予定です。

▼11月18日、香我美町山北の浅上王子宮で棒踊りが奉納されます。棒踊りが始まって今年で300年。歴史と伝統を地域の誇りとして受け継ぐ青年たちによる勇壮で迫力のある姿を、ぜひご覧あれ。伝統文化の秋到来です。（S）

▼香南市広報メンバーの一員となり、はや1年。毎月締め切りに追われるなか、香南市についてたくさんのお話を学んだ1年でした。読まれてこそ意味のある広報誌。「市民の皆さんに手にとって見てもらえる広報誌を作りたい」というあの時の気持ちを思い返し、「初心忘るべからず」で来月号も頑張ります！（あ）

《広報へのメール》  
kouhou@city.kochi.konan.lg.jp  
《香南市のホームページ》  
http://www.city.kochi.konan.lg.jp